

桜井凧保存会会報

とあそぶ

第12号



①大凧の出番 浅岡由次



①再チャレンジ 鈴木あき子

第1回フォトコンテスト入賞作品より



①風々上がり 伊藤通義

もくじ

- 2P…第6回 安城凧あげ大会
- 3P…写真で振り返る活動Report/経過報告
- 4P…桜井凧の調査から:連載その12「凧屋組合③ 西端の凧の廃絶」/総会報告

袖のある凧 その十二

桜井凧保存会 調査記録委員会

委員長 斎藤弘之

桜井凧の生産と販売に深くかかわってきた、凧屋組合についての記録簿(以下、「名簿」とします)には、桜井凧の原形と考えられる西端の凧(西端・現碧南市湖西町周辺)の最期についての記述も見られます。

この連載の第2回でも述べたことですが、桜井凧の先祖をたどっていきと、その骨組みの構造から、名古屋古流凧→西端の凧→桜井凧という系譜がうかがえます。西端の凧の発祥は、江戸時代のはじめの元禄年間(1688~1703年)に尾州鳴海(現名古屋市緑区鳴海町)の凧屋が、応仁寺の蓮如忌(地元では「蓮如さん」と呼ぶ)に店を開いていたところ、西端の彦右衛門が凧作りの技術を習得して根付かせたと伝えられています。種類には、福助、扇、軍配、奴、蝙蝠、蝶、鳶があつた

枚の凧が生産されと記録されていました。

この西端の凧の伝承者が、「名簿」に見られる杉浦宇右衛門です。彼は、大正9(1920)の凧屋組合発足時に副年行司(副組合長)を務めるなど、組合のなかでは有力な人物でした。明治時代に天神

の杉浦宇右衛門という人物だったと伝えられていますが、この宇右衛門と同一人物なのかもしれません。

しかし、「名簿」の彼の名前には、「昭和七年からやすみ」と記され、昭和7(1932)年を最後に廃業したことがわか

とされますが、現存する

西端の凧は確認されてい

ません。これらのうち、福

助、扇、蝶、鳶について

現在の桜井凧にも受け継がれています。明治11(1879)年の西端村農戸によつて年間1423戸

枚の凧が生産されと記録されています。

西端を引き払い、衰退の方向へ向っていた

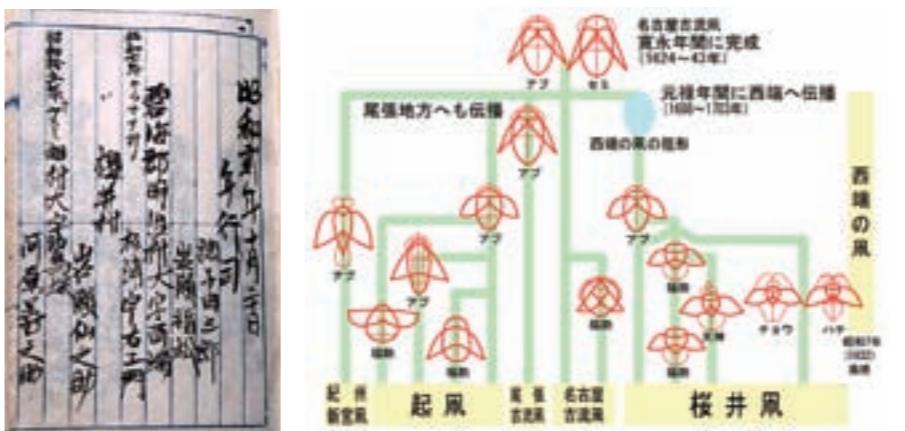
のでしよう。

明治11(1879)年段階では4戸が凧生産に従事していたのが、既に彼一人になつたことからも、西端の凧は既に

ことになります。

ります。西端を引き払い、衰退の方向へ向っていたのでしよう。

この後、桜井凧をはじめとしたとし西三河南部の凧生産は、いよいよ戦争という時代の大きな争いに飲み込まれる



①杉浦宇右衛門の廃業

①袖凧系統図

桜井凧保存会 会員募集

作るのはもちろんのこと、教える、揚げる、飾る、交流する、調査する、スポーツとして等々、一口に「凧」といってもたくさんの楽しみ方があります。あなたの好きな楽しみ方で私たちと一緒に安城の文化を伝承していきましょう。年会費2,000円(ただし、18歳未満は1,000円)以外には何の入会制限もありません。申し込み/問い合わせ事務局までまずはお電話を! ご入会をお待ちしています。

平成21年総会 開催					
1月11日(日) 安祥公民館2階会議室において定期総会を開催し、平成20年の活動および収支決算、役員改選、平成21年の活動計画および予算を承認しました。					
平成21~22年の役員は次の皆さんです。					
今後も、地域の皆様と力をあわせ、桜井凧の伝統を守り、凧文化の発展に貢献してまいります。					
役・職	顧問	幹事	幹事	参与	都築 光哉
相談役	杉浦 正行	柴田 富子	水野 淑子	石川 孝文	横山 登喜次
〃	横山 登喜次	丸山 今朝三	丸山 福雄	岩瀬 克則	石原 勝成
会長	天野 暢保	黒柳 一明	大屋 順彦	鈴木 敏彦	天野 暢保
副会長	石川 正義	岡田 誠三	堀 充洋	林 伝二	鳥居 博幸
〃	石川 正義	岡田 誠三	堀 充洋	加藤 善美	大見 孝
事務局長	都築 秀行	技術顧問	藤江 實	鈴木 正義	都築 秀行
幹事	鈴木 敏雄	〃	下平 直尋	石橋 孝子	坂田 成夫
〃	坂田 成夫	会計	事務局長兼務	杉浦 武雄	都築 昭吉
〃	都築 昭吉	参与	都築 国明	水上 保之	斎藤 弘之
〃	斎藤 弘之	〃	大屋 明仁	(第4期は平成21~22年)	平岩 篤
〃	平岩 篤	〃	山本 清堯		

■発行/桜井凧保存会

■表紙題字/横山夕葉 ■編集/meets
桜井凧保存会・事務所:安城市古井町上寺26-31(天野宅) TEL 0566-76-8848 URL <http://www.sakurai-tako.com/>
携帯(天野)090-8186-9227 (都築)090-2340-4612 E-mail(都築)hide1026@katch.ne.jp

経過報告(抜粋)

多彩で充実した活動を通して、桜井凧を広くPRすることができました。会員の皆様や、地域の皆様のご支援・ご協力にお礼を申し上げるとともに、経過をご報告いたします。(一部省略)

平成20年	
4月	○4月2日～13日 サンクスフェスタ サンテラス安城 桜井凧展示 ○4月29日(祝) 豊橋凧あげ大会 参加
5月	○5月23日(金) 第33回保存会役員会 桜井公民館 2階会議室 ○5月24日(土)～25日(日) 田原凧まつり 参加
6月	○6月8日(日) サルビア日本語の会 交流会 協力 安城市民活動センター 油ヶ淵エコ交流祭 凧づくり講習 ○6月20日(金) 安城市民憲章推進協議会総会 活動発表
7月	○7月5日(土) 矢作川いかだ下り 協力 参加 ○7月24日(木) 第34回保存会役員会 桜井公民館 2階会議室
8月	○8月2日(土) 七夕宣伝活動 碧信本店前 ○8月18日(月)～22日(木) 城ヶ入公民館 凧づくり講習
9月	○9月14日(日) 静岡 雪だるまの会 交流 ○9月19日(金) 第35回保存会役員会 桜井公民館 2階会議室
10月	○10月4日(日) 安祥文化のさとまつり 協力 凧つくり教室 安城市福祉まつり 協力 凧つくり教室 ○10月12日(日) 本託寺フェスティバル 協力 ○10月21日(日) 福祉まつり 協力 凧つくり教室 ○10月25日(土) サンクスフェスティバル 神杉 新酒まつり 協力・参加 ○10月25日(土)～26日(日) 日本の凧の会 秋季大会・全国凧揚げ大会in豊橋 参加 ○10月29日(水) 第36回保存会役員会 桜井公民館 2階会議室
11月	○11月23日(祝) 別郷町 凧つくり教室 ○11月28日(金) 第6回安城凧あげ大会 第1回実行委員会
12月	○12月13日(土) かんらんしゃ 凧つくり教室 桜井福祉センター ○12月18日(木) 第6回安城凧あげ大会 第2回実行委員会

平成21年

1月	○1月6日～11日 新春凧展示会 市民ギャラリー ○1月11日 平成21年桜井凧保存会総会
2月	○2月1日 第6回安城凧あげ大会 ○2月7日 刈谷・小垣江青年団凧作り教室 ○2月8日 一宮凧あげ大会 参加

学校関係

桜井小学校 凧つくり教室
桜林小学校 凧つくり教室
雁が音中学校 凧つくり教室
梨の里小学校 凧つくり教室
桜井中学校 凧つくり教室
矢作中学校 凧つくり教室
学校関係につきましては、10月～1月にかけて各校、複数回、開催しております。

町内会関係

三ツ川、姫小川、西町、東町、小川、城向の各町内内の皆さまと凧あげ大会に向けて、凧つくりに取り組む
愛知県教育振興会「子とともに ゆう&ゆう」月号
碧海信用金庫、岡崎信用金庫 会報 取材協力
社団法人、「刈谷法人会だより」月号
凧つくり委員会
毎月 第1・3日曜日 午前9時～午後4時
桜井公民館 実習室 凧つくり教室

ホームページ随時更新



桜井小学校 柴田富子
「あがれ！」

地上2mの付近を龍のようになびいた連凧。
祈りが通じた一瞬。嬉しかった。学級チーム
出場の5年生に拍手。凧は風と心だ！！

すぎうらはるたか
桜林小学校2年(当時)

ぼくは、たこをあげている時、さいしょはちょっとしかとびませんでした。と中から風にのって、高くとびました。その時、とてもうれしかったです。

桜井凧保存会 写真で振り返る活動Report!!

日本凧の会 秋季大会閉会式 10月25日
豊橋総合運動公園
全国の凧仲間と気勢をあげました

本証寺フェスティバル 10月12日
凧もよろしくうれしそうです

みんなでわいわい凧作り 12月13日 桜井福祉センター
地域ふれあいサークル「かんらんしゃ」の集いにて

第6回 安城凧あげ大会

凧あげ大会開催

平成21年2月1日(日)

小川天神緑地公園で開催されました。
笑顔がいっぱい、みんなの凧が大空に舞いました。



三ツ川町内会 都築光哉
「ム枚の蜂凧」

昨年に続いて今回で二回目の参加。町内会において「たこクラブ」を結成し、昨年の11月より、水上保之さんのリードで蜂凧に決め、町内会役員を中心に制作に励んだ。素晴らしい出来栄えの凧で皆さんから誉められた。来年もまた凧づくりの輪を広げて、町内会として参加したいと思っています。



小川町内会 大須賀末治

西町内会
「凧と飛びたい」

大空にあがる凧。凧は少々強めだが、凧は気持ちよさそうだ。われわれも凧と一緒に飛んでみたい。楽しい一日であった。



姫小川町内会 都築洋一
「風に乗ってけ!! 福助」

今年は弱い風でも上がる軽い福助を作り参加。ところが当日は強風に悪戦苦闘。補強や修理の技を保存会の先生に教わり、意義ある二年目の経験となりました。



城向町内会
「6番目の町内会 初参加に燃えた！」

大会に参加しようと一聲、昔を思い出し13名の仲間が集合。「アブの大凧にしよう」…連日夜を徹して凧づくりに精を出す。みんなの気持ちを乗せて揚がった！バンザイ！

東町内会
「凧づくりは地域づくり」

凧作り、凧あげをとおして、子供も大人もお年寄りも心が一つになる。たかが凧、されど凧。凧に感謝。さあ来年も飛ぶぞ！